

J T C C ニュース (日本繊維技術士センター ニュース)

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

< J T C C 講座のご案内 >

(各講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒)
申し込みの詳細は、JTCC ホームページをご覧ください。

◆ 技術士試験の予定 (4 月号と同内容)

技術士試験一次、二次の日程が決まりました。

項目	技術士一次試験	技術士二次試験
受験資格	制限なし	技術士一次試験合格者
受験申込書の配布	令和 4 年 6 月 16 日～29 日	令和 4 年 4 月 1 日～18 日
受験申込書の受付	令和 4 年 6 月 16 日～29 日 (写真要)	令和 4 年 4 月 1 日～18 日 (写真要)
試験日	令和 4 年 11 月 27 日	令和 4 年 7 月 18 日
筆記合格発表	令和 5 年 2 月	令和 4 年 11 月
口頭試験	なし	令和 4 年 12 月
技術士資格合格連絡	令和 5 年 2 月合格書送付(官報)	令和 5 年 3 月合格書送付(官報)
試験会場	北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、 大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県	

◆(一社)日本繊維技術士センターが行う「技術士一次試験受験講座」の開催予定と内容

	JTCC 本部(大阪)	関東支部(東京)	東海支部(名古屋)
募集時期	4月1日～5月13日	4月1日～6月10日	4月1日～6月17日
講義開催日程	6月11、18、25日 7月9、16、23日 8月27日(模試) 9月10～19日 (個人別フォロー)	6月26日 7月10、24日 8月7、21日 9月25日(模試) 10月15日	7月2、16、23、30日 10月8日(模試) 10月22日:フォロー アップスクーリング
模擬試験	8月27日	9月25日	10月8日
講義方式	講義:オンライン 模擬試験:オンライン・ 対面(会場後日連絡)	講義:オンライン 模擬試験:オンライン	講義、模擬試験:対面 及び通信講座 オンラインではありません (会場後日連絡)
募集人員	30名	20名程度	各コース12名
講義の内容	講義、模擬試験、 模試結果のフォロー	講義、模擬試験、 模試結果のフォロー	講義、模擬試験、 模試結果のフォロー
全講義受講料金 (部分受講もあり)	8万円 (部分受講は別料金)	8万円 (部分受講は別料金)	6万円 (部分受講・通信講座 は別料金)
申し込み方法 ホームページ	3～4月 JTCCのHPより	3～6月 JTCCのHPより	4月～6月17日 締め切り(定員12名) JTCCのHPより
指定アドレス	jtcc@nifty.com	Jtcc-kt@nifty.com	なし
FAX	06-6484-6575	03-5614-0103	052-204-1469

◆<JTCC本部開催 技術士二次受験講座>

2022年度の申し込みは終了しています。(技術士二次試験日:2022年7月18日)

◆<TES講座>

2022年度の申し込みは終了しています。

◆<日本技術士会繊維部会 2022年5月度 CPD 講演会>

主催:日本技術士会統括本部繊維部会の行事です。

主催テーマ	内容(講師)	日時	会場
「我が国繊維産業の方向性と技術」	産業構造審議会繊維産業小委員会報告:繊維産業 SDGs (経済産業省製造産業局生活製品課 高橋達也)	5月29日 (日)	オンライン
	技術が支えた日本の繊維産業と、素材・商品開発の歩み (日本繊維機械学会 繊維未来塾 松下義弘)		

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページ(各支部の行事;関東支部)をご覧ください。)

◆企業紹介

芦森工業株式会社



ASHIMORI 芦森工業株式会社

本社・大阪工場

住所：〒566-0001
大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号

TEL:06-6388-1212

<https://www.ashimori.co.jp/>

自動車安全部品	バルテム	防災	産業資材	研究開発・品質管理
安全性への厳しい理念が 新たな価値を生み出す	様々な技術と工法で ライフラインを支える	確かな信頼と豊富な実績で防災 分野に新たな価値を創造する	繊維資材の用途を拡大し 多様なニーズに対応	たゆまぬ技術開発と 品質管理で社会に貢献
				

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

以下のような、産業構造審議会 製造産業分科会として計6回開催されている

第1回 2021年11月22日

繊維産業の構造変化と政策課題について
日本繊維産業連盟からの説明

第2回 2021年12月23日

繊維産地の直面している課題と新しい動き
生産体制の環境整備

第3回 2022年1月26日

これからのファッションを考える研究会 ～ファッション未来研究会
話題提供(三菱 UFJ 銀行)
新しい市場ニーズへの対応

第4回 2022年2月17日

ファッション商品の海外展開
新たな市場獲得への体制整備
豊かな生活を担う繊維産業における 技術開発に向けて

第5回 2022年 3月10日

令和3年度製造基盤技術実態等調査（国内外の繊維産業に関する調査）

第6回 2022年3月31日

非公開資料

それぞれの審議内容について、多くの資料が提供されている。

「開催の趣旨について」

産業構造審議会 製造産業分科会 「繊維産業小委員会」の設置について

2021年11月

日本の繊維産業は大きな転換期を迎えている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの繊維産業関連企業の売上が落ち込むとともに、消費者ニーズの変化に見舞われている。

一方、新しい販売方法・市場の動きがあり、変わりゆく産業構造や社会構造を踏まえた今後の方向性を議論・検討する必要がある。「繊維産業小委員会」を設置し、2030年に向けた繊維産業の方向性に係る検討を進めることとする。

2. 環境省

・民間企業の方のための気候変動適応ガイドの改訂版の公表について

令和4年3月25日

環境省は、民間企業の経営及び実務に関わる方々を対象に、気候変動影響を考慮した昨今の気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言対応や事業継続マネジメント(BCM)対策についての理解を深め、気候変動適応の取組を進める際の参考としていただくため、平成30年度に作成した「民間企業の気候変動適応ガイドー気候リスクに備え、勝ち残るためにー」を改訂し、公表しました。

本ガイドの入手方法(環境省 報道発表資料を検索してください)

(※1) <http://www.env.go.jp/earth/tekiou.html>

(※2) https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/guide/index.html

3. 団体

●日本繊維産業連盟（詳細はホームページ参照）

・新情報なし

●日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

・JIS L1954 生地を経時的吸放湿性試験方法が制定されました 2022年04月01日

日本化学繊維協会が開発した経時的吸放湿性試験方法が「JIS L1954 生地を経時的吸放湿性試験方法」として

2022年3月22日に制定されました。

既存のJIS試験方法では吸放湿量の評価が中心でしたが、JIS L1954では吸放湿速度を評価の主体としており、繊維製品の経時的吸放湿特性(吸放湿速度および吸放湿量)を正確に測定することが可能となります。

●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

・新情報なし

●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

・新着情報なし

●（一社）日本衣料管理協会

繊維製品品質管理士（TES）

日本衣料管理協会の実施する TES 試験に合格すると TES 資格が取得できます。学歴・年齢を問わず誰でも受験ができます。

2022 年度 T E S試験のスケジュール（予定）	
試験日	2022 年 7 月 10 日（日）
日程	4 月 1 日 要項発表 5 月 1 日～20 日 願書の受付期間 7 月 10 日(日) 試験日 9 月中旬 試験結果発表 11 月 1 日 認定証の交付
試験会場	東京試験場 未定（決定次第 HP にてお知らせします） 名古屋試験場 未定（決定次第 HP にてお知らせします） 京都試験場 京都女子大学 福井試験場 福井大学 文京キャンパス 倉敷試験場 倉敷ファッションセンター 福岡試験場 JR 博多シティ会議室

●（一社）繊維評価技術協議会（繊維技協）

・SEK マーク繊維製品認証基準（JEC301）が、一部改訂された。

●関西ファッション連合

・新情報なし

◆企業紹介

一広株式会社



タオル美術館グループ

タオル美術館

〒799-1607 愛媛県今治市朝倉上甲 2930

TEL 0898-56-1515 <http://www.towelmuseum.com/>

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆＜繊維学会誌＞ 2022 年 4 月号



【特集】＜先端繊維素材研究委員会＞

○防災服をとりまく技術・潜在する問題・将来への展望

信州大学

若月 薫

1. 防災服を取り巻く技術
2. 防災服の規格試験と縫製品のギャップ
3. 新たな防災服システム設計
4. 防災服研究を通して防護服開発に思うこと

○持続可能社会の実現に貢献できる高性能バイオプラスチックの設計

北陸先端科学技術大学

高田健司・金子達雄

1. 芳香族天然分子のバイオ生産設計
2. バイオ由来4-アミノ桂皮酸をベースとしたポリアミドの開発
3. イタコン酸由来バイオベースナイロンの開発

○モビリティと繊維 ー期待と課題ー

金沢工業大学

影山裕史

1. 自動車を取り巻く環境の変化

- 1.1 2つのキーワード ①2050年カーボンニュートラル ②CASE(Conenected、Autonomous/Automated、Shared/Service、Electric)

1.2 自動車から多目的モビリティへ

2. モビリティ用材料の動向
 - 21 炭素繊維強化複合材料(CFRP)による軽量化の期待
 - 22 バイオマス繊維(BF)強化バイオマス樹脂(BFRP)への期待
3. モビリティ用繊維の現状と動向
4. モビリティ用繊維の課題と今後

＜業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎講座—11＞

このシリーズは、2021 年 4 月号より始まり、今後約 2 年間継続掲載されています。

○第3編「産業資材用中間繊維基材」

(2)不織布

(一社)日本繊維技術士センター 北洞俊明

3. 2. 1 はじめに

不織布の生産量と消費量の説明

3. 2. 2 不織布の定義

3. 2. 3 不織布に使われる繊維

3. 2. 4 不織布の製造方法

連続繊維からなるウェブ形成方法

・スパンボンド法 ・メルトブロー法 ・フラッシュ紡糸 ・エレクトロスピニング法

短繊維からなるウェブ形成方法

・乾式法 ・湿式法

ウェブ結合方法

・接着法 ・絡合 ・縫合

3. 2. 5 不織布の用途

・衣料用途 ・医療用途 ・衛生材料用途 ・生活関連用途 ・産業資材用途
・土木用途 ・農業用途 ・その他

＜繊維高分子の測定方法 21＞

○GISAXS 法による高分子薄膜の構造測定・解析

京都大学 小川紘樹

1. GISAXS 法の特徴と原理(試料に X 線を入射することで、散乱した X 線を二次元検出器で得る手法)
2. GISAXS 法によるブロック共重合体薄膜の構造解析
3. In-situ GISAXS によるブロック共重合体の成膜中における自己組織化転移過程
4. ブロック共重合体の組成を変えた時のスピノード中の転移過程

＜繊維関連の美術館・博物館＞

○「織物博物館」—はたや記念館ゆめおれ勝山

勝山市商工文化課 松村英之

◆＜繊維製品消費科学会誌＞ 2022 年3月号



＜解説＞

- コロナ後のファッション教育を考える 女子美術大学 柿島由雄
 - 消費者行動における自己制御 とみや織物(株) 富屋靖久
 - 消費者行政における内閣府消費者委員会の役割 京都橘大学 石山裕菜
 - SDGsの17の目標に対する繊維各社の取り組み 豊和(株) 古谷武弘
 - ユーザーの個人差を考慮した皮革の触感モデリング手法 トヨタ紡織 井波 信
 - やわらかさ知覚研究の近況 東京都立大学 岡本正吾
 - OEC サイトにおける布の風合いに関する表現と消費者の意識 鎌倉女子大学 谷 祥子、日本女子大学 田邊しずか 奥脇菜那子 松梨久仁子
- (一財)ニッセンケン 信木理恵子 安藤 健

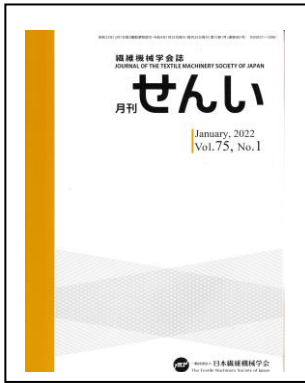
○合成皮革表面にしぼを形成するインソルバイド含有ポリカーオネイトジオールを使

用したポリウレタン樹脂の物性

京都女子大学 榎本雅穂 前川正実、相山女学園大学 解野誠司
三菱ケミカル(株) 白井一彰 小林光治

◆＜繊維機械学会誌＞

「月刊せんい」 2022 年3月号



【解説】

○CNT100%の長尺紡績糸の研究開発および用途検索

村田機械(株) 福原憲典

CNT(carbon nano tube)は、二次元物質であるグラファイトであり、金属と同等の熱伝導性と電気伝導性がよい。

CNT100%の長尺紡績糸で糸を作成し、糸からニットを作成した。この記事スマートテキスタイルに応用してニットセンサーにして利用する事例を紹介。

○繊維・未来塾 設立10周年 川中企業の実学・交流の場 次世代に伝える
メイド・イン・ジャパンを世界へ

日本繊維機械学会 松下義弘

＜製品紹介＞

○熱融着繊維「メルセツ」の商品開発

ユニチカ(株) 池田弘平

「メルセツ」は芯部にポリエチレンテレフタレート(融点:255℃) 鞘部に結晶性共重合ポリエステル(融点:160℃)を配した芯鞘構造の熱融着繊維である。

「メルセツ」の性能

(1) 耐光性 (2)耐アルカリ性 (3)耐摩耗性

「メルセツ」の使用例

建築土木用途、工業用途、車両用途、水産用途

◆＜日本技術士会誌＞

「技術士 PE」 2022 年3月号



部門共通技術

○マスクの性能要件及び試験方法(JIS T9001、T9002)について

カケンテストセンター 斎藤寿叙

1. マスクの概論

- 1.1 マスクの歴史
- 1.2 マスクの材質と形状
- 1.3 マスクの微粒子捕集性能

2. マスクの JIS 規格

- 2.1 背景
- 2.2 JIS T9001 医療用マスク及び一般マスクの性能要件及び試験方法
 - (1)機能性試験 (2)安全・衛生試験
- 2.3 IS T9002 感染対策医療用マスクの性能要件及び試験方法
 - (1)基本性能 (2)付加性能 (3)材料の皮膚刺激性

(月刊誌)

◆＜加工技術＞

2022 年3月号

○繊維製品を対象とした微生物制御(上)

元近畿大学 坂上吉一

- ・種々の微生物制御法 殺菌(加熱殺菌、冷殺菌)、除菌、静菌、遮断
- ・主な天然系抗菌剤の分類
- ・有機系合成抗菌剤の分類

○スポーツウェアに求められる機能性・快適性

JTCC 清島展弘

- 1. スポーツ用品業界について
- 2. スポーツマーケティングに影響を与える要素
- 3. スポーツウェアのマーケティング
- 4. スポーツ・アパレルメーカーの機能

5. スポーツウェアの商品開発
 ○時空繊維
 6 大阪企業家ミュージアムで広岡浅子特別展
 ○産業資材を中心とした直近のトピックス
 サステナビリティ(バイオ、リサイクル、環境対応など)―(中)

JTOC 八木健吉
 シオタニ&オフィス 塩谷 隆

◆＜不織布情報＞ 2022 年3月号

【用途特集】フィルター

○不織布とフィルター

(合資)テクノファブリカ 福岡 強

不織布の種類やその利用方法(マスク、設備フィルター、産業用、土木用など)について、分りやすく解説されています。

○レンチングTMリヨセルおよびレンチングTMビスコース繊維のフィルターろ材用途における持続可能な競争優位性
 レンチング社

◆＜新聞、他＞

繊維新聞

○2022 年～2 月 の衣料品の輸入 (数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比)

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	214	1,136	115	1,020	329	71.0	2,156	55.2
		▲11.9	4.4	▲8.0	6.7				
2	ベトナム	47	280	23	296	70	15.1	576	14.8
		▲18.6	▲7.9	▲6.8	1.9				
3	バングラ デシュ	33	128	13	119	46	9.9	247	6.3
		19.2	34.2	6.5	29.8				
4	カンボジア	22	88	9	115	31	6.7	203	5.2
		2.7	10.0	▲14.6	5.8				
5	インドネシア	10	65	7	77	17	3.7	132	3.4
		▲9.8	▲1.3	▲18.9	6.9				
6	イタリア	0.1	46	0.1	73	0.1	0.1	119	3.0
		▲9.7	6.7	▲1.8	10.6				
7	ミャンマー	11	45	10	102	21	4.5	147	3.8
		4.5	24.2	2.4	6.7				
	全世界	362	1,959	101	1,946	463	100	3,905	100
		▲9.2	4.0	6.1	6.8				

出所:日本貿易統計

中国、ベトナムからの数量の落ち込みが大きい。単価は増加している。価格が高くなっている。
 バングラデシュは引き続き増加傾向である。

繊維ニュース

特になし

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、Jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題、JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先: jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、Jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集: 一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469